

HSK 毎月十回（一三五・八十一・十五・二十・二十三・二十五・二十八日）発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

HSK

遊ぼうよ

No. 121



なすび 草島昇さん



講師：野口晃氏

プロフィール

野口晃（のぐちこう）
埼玉生まれ
一九九四年金沢大学医学部卒業、同年金沢大学第一内科入局。
金沢大学病院、富山労災病院、金沢市立病院、能登総合病院、町
立富来病院にて消化器内科医として勤務。二〇一一年富来病院
にて訪問診療に出会い、在宅医療に魅了される。二〇一九年一
月かがやき在宅診療所を開業。二〇二四年七月医療法人インク
ルサードベース診療所に名称変更、理事長就任。
かなざわ在宅ONネット代表、金沢在宅MSI経口摂取相談会副代
表、石川NST研究会世話人

参加申込が
必要です

お申込は、メール・FAXにてお願いします。
Mail info@ci-toyama.com
Fax. 076-407-5557



参加無料

テーマ「在宅生活と在宅医療」

副題：日常生活と医療のつながり。自分の障害への
対応と生活の質を高めるためのヒント。

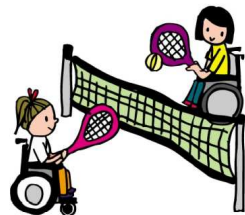
講師：医療法人インクル サードベース診療所

野口 晃（のぐちこう）先生

月日：2026年6月6日（土）

時間：13時30分～15時迄

会場：サンシップとやま501号室



主催

MSO法人 自立生活支援センター富山
富山市新川原町五一九
レジデンス新川原一階
電話〇七六一四四四一三七五三
メール info@ci-toyama.com

6月6日に当法人の定期総会があり、午後から金沢の野口先生をお迎えして講演会を開催する予定です。

どなたでも参加できますが、会場の都合上、事前にメールまたはFAXにて申し込みをお願い致します。参加無料です。

会費の納入をお願いします

皆様におかれましては、日頃から私たちの活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

今年度の会費納入をお願いする時期となりました。皆様からいただきました会費はその年度の活動の礎となり、さまざまな可能性にチャレンジする原資となります。会費納入用の振込用紙を同封させていただきましたのでご協力いただけると幸いです。既にご入金いただいた方には失礼お許しください。

機関誌は年4回の発行ですが、ホームページ、ブログ、X（旧Twitter）、インスタグラムで随時活動に関する情報を更新しています。ご覧いただき、ご意見やご要望をお寄せいただけると幸いです。
（文責 田中）

昨年度の主な活動として・・・



2025年10月24日に富山県民会館にて「脳性麻痺の生涯を通じての療育」というテーマで、広島県立総合リハビリテーションセンターの志村司先生をお迎えして講演会を開催しました。障害当事者とその家族、医療関係者の方々が参加されました。

2025年12月6日に市民プラザ3階AVホールにて「障害者政策のこれまでとこれから」というテーマでDPI（障害者インターナショナル）日本会議副議長、尾上浩二さんをお迎えして講演会を開催しました。



「車いす目線から巡る七尾の旅」28

桶屋 善一

皆さん、こんにちは。

今年もゴールデンウィークがやってきました。両親が元気なときは家へ帰っていました。ゴールデンウィークといえば、田植え、タケノコ、ウド、ワラビなどの山菜ですね。両親が昼ご飯時に、家へ帰って来ると納屋の玄関に積んでありました。懐かしいです。そのときは家より施設が良いと思っていました。しかし、年齢が増すと自宅が懐かしくなっております。

七尾のゴールデンウィークは5月3～5日に開催される青柏祭です。国の重要無形民俗文化財に指定されている青柏祭。「でか山」は本当に大きく、屋台の上に子供たちが乗り、着物を着た青年たちが扇子を持って、七尾まだらを歌いながら、七尾駅前から能登食祭市場までの御祓川通りを練り歩きます。日本一の山車「でか山」が3台、5月3日の夜中に3町から出発し、4日に七尾市内を廻り歩き、山王神社に3台の「でか山」が集合します。5日の午後に七尾駅前から御祓川通りを能登食祭市場へ向かって進み、能登食祭市場に3台の「でか山」が勢揃いします。



私も10年ほど前は友人と青山彩光苑からコミュニティバスで七尾駅前まで行き、青柏祭・同時に開催されている七尾市一本杉通りの花嫁のれん展の、各店舗に飾られている花嫁のれんを見て歩きました。「花嫁のれん」とは、結婚の際、花嫁が持参する能登伝統の婚礼道具です。以前は友人と一本杉通りの端から端までデジカメで、写真を撮り歩きました。

しかし、現在では外出は単独ではできないので、施設でパソコンとお友だちでいます。寂しいです。

「車いす目線から巡る金沢駅 19」

北陸新幹線の見学を終え、1階コンコースに出てきました。以前のコンコースとは違って、バリアフリーが進み、段差もなくなりました。外国人観光客が増え、各案内が英語・中国語他の表示が増えていました。



1階コンコースの案内図

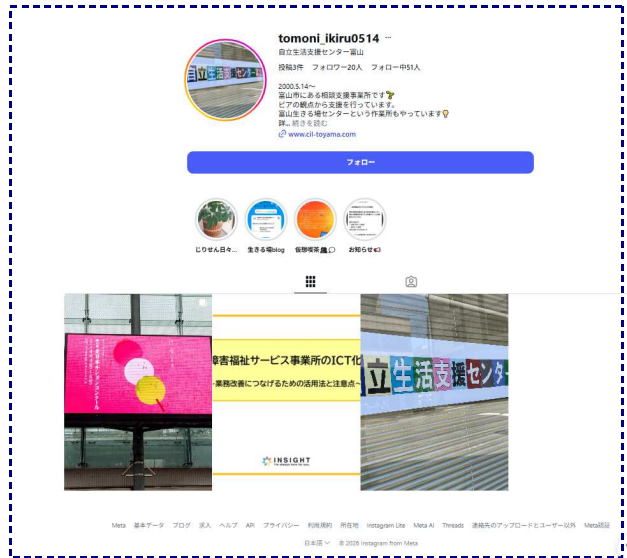
車いすも常備、1階コンコースの案内図が点字でも標示されています。私のような車いす利用者には手が届きませんが、歩行が可能な視覚障害者の方たちは、利用しやすいようになっています。コンコースから北陸新幹線に乗車する改札口は、左側に車いす専用の改札口があります。金沢駅の北陸新幹線の改札口は、全部が同じ造りになっています。



1階コンコースに出る

～次号に続く～

インスタグラム はじめました



当センターでは、ホームページやブログ、機関紙で情報発信をしておりますが、その他にもインスタグラムをっております。
https://www.instagram.com/tomoni_ikiru0514/ ぜひ、ご覧ください。

スタッフからのひと言

年明けから自立生活支援センター「富山」でInstagramを始めてみました。試行錯誤しながらの運用で、ついX(旧Twitter)と似た内容になってしまおうのが悩みどころですが、イベントのお知らせなどにも活用していければと思っています。よろしければぜひのぞいてみてください。今どきの学生さんはLINEよりInstagramでやり取りすることも多いそうなので、時代の流れをしみじみ感じています。

(文責 八島)

編集人：特定非営利活動法人
自立生活支援センター富山
連絡先：〒930-0024
富山市新川原町5-9
レジデンス新川原1F
tel 076-444-3753
fax 076-407-5557
郵便振替：00700-5-47253
自立生活支援センター富山
発行人：北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉312番地
定価：100円
年間購読料：400円